

広報

青葉

第23号 平成24年7月30日発行

医療法人 青葉会

松江青葉病院

〒690-0015 松江市上乃木 5-1-8

TEL: 0852 (21) 3565 FAX: 0852 (21) 0111

Email: aoba@themis.ocn.ne.jp

URL: <http://www.matsueaoba.or.jp/>



〔私たちの理念〕

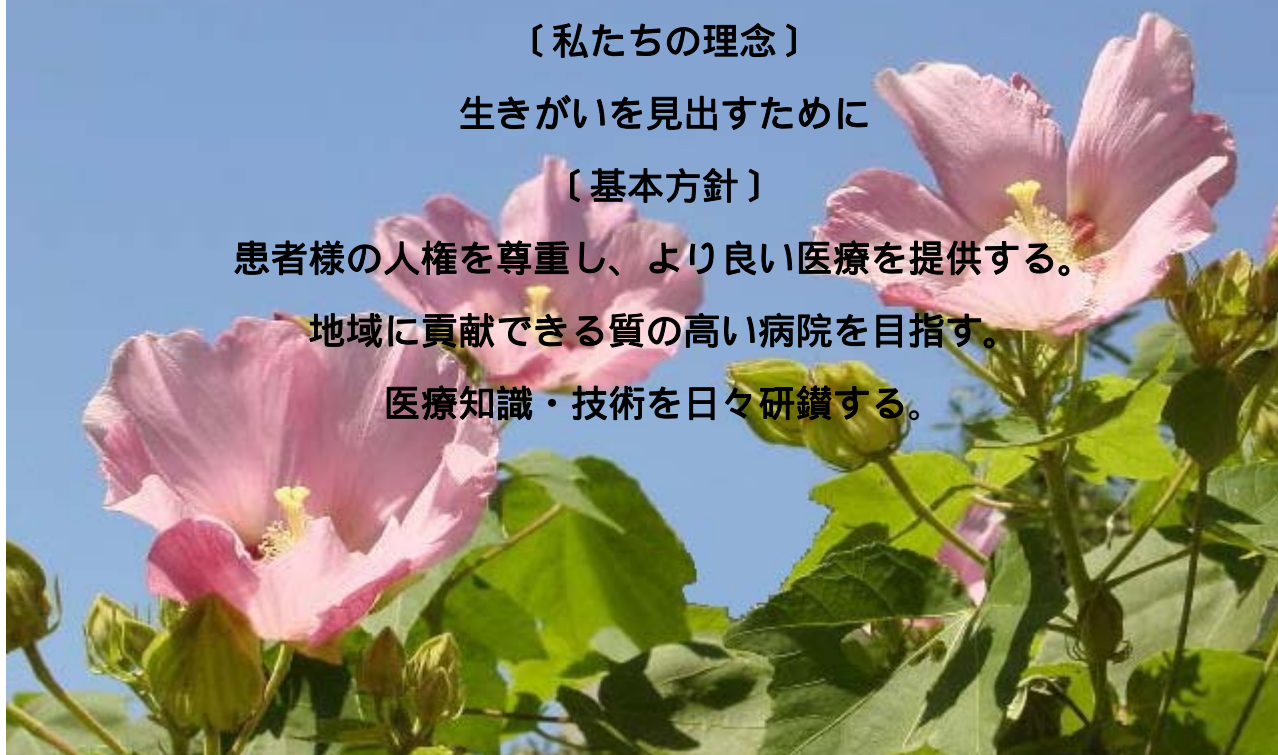
生きがいを見出すために

〔基本方針〕

患者様の人権を尊重し、より良い医療を提供する。

地域に貢献できる質の高い病院を目指す。

医療知識・技術を日々研鑽する。



～巻頭～

不安定な世界経済・一向に収まらない我が国のデフレ経済・遅々として進まない政治状況など、東日本大震災以降は暗いニュースが毎日のように飛び込んできます。解決困難なフラストレーションと同居を続ける時代に突入したのかなと思ってしまう今日この頃です。

一方、今年の日本は、金環日食・金星の太陽表面通過など天体ショーが目白押しでした。普段、天気は気にしても天体までは気にしない私も、ワクワクして過ごすことができた数週間でした。このワクワク感を常に持てるように頑張っていきたいものです。

当院に目を移しますと、当院も今年から敷地内全面禁煙化を決定いたしました。精神科病院ですので、敷地内分煙で取りあえず問題はないのですが、これも時代の流れでしょう。現在、平成24年10月1日からの全面禁煙に向けて病院一丸となって鋭意努力中です。

最後になりましたが、今年も去年同様の節電の夏がやってきました。色々工夫して、楽しく節電をしながら、夏を乗り切っていきたいと思っています。

松江青葉病院 院長 妹尾晴夫

病院機能評価認定更新

—継続的な質改善の取り組み—

事務長 狩俣 稔

2011年11月に行われた認定更新の審査の結果は、すべての項目において及第点に達しており、一定の水準を満たしているとの報告が本年1月24日、評価機構から届きました。部署によっては書類の整理など徹夜で取り組んだ成果でもあることを実感したかも知れません。

いまさら触れる必要はないでしょうが、病院機能評価は、組織的に医療を提供するための基本的な機能が適切に発揮されているかどうかを評価する仕組みです。医療を見つめる第三者が、中立・公平な立場にたって評価することがその前提となっており、今回その第三者による評価で、セーフの判定、すなわち一定の水準を満たしていることが認められたわけです。

ただ、身の程をわきまえず折に触れ言わせていただいておりますが、評価の結果明らかになった課題に対し改善に取り組むことで、医療の質向上を図り続けることの方が、認定そのものよりもさらに意味があると考えられます。

地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供するため、常日頃努力している病院であり続けること、つまり各職種・部署が有機的につながって、より良い病院となるよう継続的に取り組むことが、さらに重要であることに異論はないはずです。

「機能評価の会」の呼称をあらたにした「青葉病院 医療の質向上委員会」の持続発展の思いを胸に、すべての職員が向上への歩を進めていることを誇りにしたいと思います。

第37回日本精神科看護学術集会に参加して

1階病棟 看護師 大野 幹男

「精神科看護と社会貢献」の主題のもと、6月1日～3日まで神戸国際会議場で開催された日本精神科看護学術集会に参加させていただきました。

当院は3階病棟の「閉鎖病棟から開放病棟への転出に消極的な患者への援助～グループミーティングによる患者の思いの変化～」、1階病棟の「緘黙の強い統合失調症患者への化粧を通じたかわりの効果～自己活性化、行動変容についての検証～」の2題を示説発表させていただきました。発表後、全国の精神科看護に携わる方から助言・評価を頂き、この研究がとても有益なものであったと感じました。

シンポジウム、講義、他施設の発表を聴講することで、この社会で精神科看護に課せられた役割はとても大きいものであると感じました。

この経験を日々の看護業務に活かしていこうと思います。

こころの日によせて

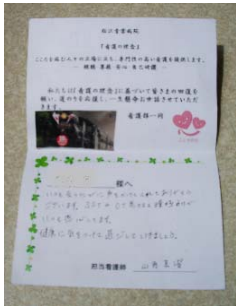
2階南病棟 看護師長 石倉 孝子

7月1日のこころの日にあわせ、当院でも7月2日にささやかながらイベントを行いました。

絵を書いたり、写真を貼るなどして、その人に合わせたメッセージカードを作成し、受持ち患者様一人一人にお渡ししました。胸ポケットに大切そうにしまう人、ずーっと持ち続けている人、他の人に見せる人など様々でした。

昼食には栄養科より御馳走を出してもらい、何時ものテーブルにクロスをかけたり、花を飾ったり、BGMを流したりと雰囲気を変え、ゆっくり食べていただきました。午後には職員による人気歌手の歌にあわせた手話や日本舞踊を披露しながら各病棟をまわり、心を癒してもらいました。

私達もこの日を契機に目に見えないこころの傷をどの様に見い出し看護をしていくか更に研鑽を重ねたいと思います。



こころの日

メニュー紹介

管理栄養士 遠藤 由佳理

今回は『こころの日』ということで、厨房職員がメニューを考えました。患者様に満足していただけるよう『食材』『彩り』『盛付』全てにこだわりました。厨房職員に「メニューの見所は」と尋ねてみると、このような回答が返ってきました。

「患者様に目で食事を楽しんでもらうために、いつもより食材を多く使いました。また夏らしく涼しげなメニューに仕上げました。」

昼食時に患者様の食事風景を観察してみると、皆様から「おいしい」や「豪華」といった嬉しい言葉を聞くことができ、とても良かったです。これからも患者様に満足していただける食事が提供できるよう栄養科職員一同がんばっていきます。



- おしながき -

- ・ ひつまぶし
- ・ 鶏の照焼き
- ・ 炊き合わせ
- ・ きゅうりの酢の物
- ・ とうがんの清汁
- ・ 水ようかん

こころの健康

精神科認定看護師 森山 香澄

現代はストレスがいたるところに蔓延する社会だと言われています。日本では、うつ病を含む[精神疾患]が、とうとう[がん][脳卒中][心筋梗塞][糖尿病]とともに“国民がかかりやすい疾患=5大疾病”に位置付けられるようになりました。

これらすべてに共通するのが、“早期発見・早期治療がその後の経過にとっても影響する”ということです。



自分で気付ける ~うつ状態のサイン~

気分の低下：気分がゆううつ・めいる・さびしい

不安・焦り：何か不安で落ちつかない・イライラする

思考の偏り：頭が働かない・自分を責めてばかりいる・自分はいないほうがよいと思う

意欲の低下：やる気が出ない・何も考えたくない・億劫だしすぐ疲れる

集中できない・迷って決められなくなった

睡眠の異常：いつもより寝つきが悪い・早く目が覚める・熟睡感がない

体の異常：お腹が空かない・おいしくない・体がだるい・頭が重い・疲れがとれない



2週間以上症状が続くようなら、ストレスによるこころの不調の可能性あり!

すでに夏のレジャー計画を立てている人もいることでしょう。その際には、ぜひとも日頃の疲れやストレスを解消するぞという意識をもって満喫していただきたいと思います。



駐車場が増えました

P

今まで駐車場が満車になってしまうことがありご迷惑をお掛けしていましたが、この度新しく第2駐車場に7台分の駐車スペースが増えました。外来受診やお見舞いで来院された際にご利用ください。

至 松江駅

国道
432
号線

第1駐車場



病院
正面玄関

第2駐車場
~

編集後記

暑い夏がやってきます。体調管理・こころの健康管理に気をつけて、今年の夏を精一杯楽しみましょう!

※掲載写真は、ご本人の許可を得て掲載しております。

発行: 松江青葉病院 広報委員会
第23号編集担当: 地域医療連携室